

わっさむ 社協だより

令和 2 年 12 月

No. 101

発行
社会福祉法人
和寒町社会福祉協議会

〒098-0111 上川郡和寒町字三笠 6 番地 特別養護老人ホーム『芳生苑』内 Tel 0165-32-3666
ホームページ 社協 <https://wassamusyakyō.com/> 芳生苑 <https://houseien.org/>

第16回 和寒町社会福祉大会

主催 社会福祉法人 和寒町社会福祉協議会



前列左より受賞された丹羽さん、大橋さん、林さん、眞鍋さん、佐々木節子さん、荒瀬さん、佐々木昭三さん
後列左から瓜会長、瀬川さん、久保さん、山内さん、山本さん、佐々木優子さん、横田さん、森田副会長、眞鍋副会長

第16回和寒町社会福祉大会標語

最優秀賞

『そっと手を 人を支える その勇気』

和寒中学校 3 年 加藤 慶汰

優秀賞

『ありがとう まちじゅうにひびくと いいのにな』

和寒小学校 1 年 こののちか

優秀賞

『あいさつで みんなと作る 笑顔の輪』

和寒小学校 6 年 山内みのり

(佳作 4 作品は 2 ページに掲載) (敬称略)

ふれあいネットワーク

福祉への功績を讃えて 第16回和寒町社会福祉大会を開催



10月20日和寒町公民館「恵み野ホール」で開催され、奥山和寒町長、佐々木町議会議長、沓澤教育長のご臨席をいただき、福祉活動に貢献のあった15名の方に表彰状が、多額の寄付をされた4名の方に感謝状が授与されました。今回はコロナウイルス感染防止のため、参集範囲を縮小し基調講演は行わず、表彰式のみではありましたが厳粛に式が行われました。来賓の奥山町長、佐々木議長から祝辞をいただき、受賞された19名を代表し瀬川京子さんから謝辞がありました。また、今大会の標語を和寒小中学校児童生徒の皆さんに募集し75作品が寄せられ、最優秀賞に和寒中学校3年加藤慶汰さん、優秀賞に和寒小学校1年今野知夏さんと6年山内みのりさんが、このほか佳作4作品が選ばれました。今後社協だよりや配付物に記載し有効に活用させていただきます。

福祉活動功績者15名に表彰状を、篤志者4名に感謝状を授与

《福祉団体役員》

- ・社 協 役 員（10年以上）丹羽 茂さん
- ・老人クラブ連合会（5年以上）大橋 信一さん 林 博明さん 眞鍋 紘一さん 佐々木節子さん
荒瀬 龍男さん 佐々木昭三さん 瀬川 京子さん 久保 鉄郎さん
佐藤 光男さん 山内 淳一さん
- ・民生委員児童委員（10年以上）森本 岸子さん 西川とよ子さん

《優良活動個人》

- ・配食ボランティア 山本 裕子さん 佐々木優子さん

《篤 志 者》

- 横田 茂夫さん 松原 正さん 武田 恒夫さん 大澤 隆夫さん

標語最優秀賞・優秀賞・佳作作品賞状伝達

今回の社会福祉大会標語公募で和小2名、和中5名の7作品が採用され、11月5日と9日に児童生徒さんに社協会長から賞状の伝達と記念品の贈呈が行われました。



《佳作作品の紹介》（敬称略）

- ・和寒中学校1年 川口 真央 「ありがとう 恥ずかしがらず 伝えよう」
- ・和寒中学校1年 高岡 響流 「距離をとり マスクごしに 見る笑顔」
- ・和寒中学校1年 吉原舜之助 「ふれ愛と 助け合う福祉 和寒町」
- ・和寒中学校2年 乗田幸士朗 「つなげよう 地域みんな 福祉の輪」



ことしの赤い羽根共同募金運動は…

運動期間 10月1日～12月31日

コロナ禍のもと各イベントが中止になり募金活動に大きな影響を受けていますが、町内商店・事業所は今年も募金箱の設置を快く引き受けて下さり、74回目の共同募金運動が始まっています。募金は地域福祉への活用のほか近年は災害支援にも活用され、大きな役割りを果たしています。また、12月には歳末たすけあい運動が始まります。どちらの募金もみなさまのご協力により成り立っています。

昨年、町民みなさまからの善意の募金は今年度、次の事業に役立っています。



《赤い羽根配分金 416,000 円》

配食サービス事業 151,000円 高齢者宅へ食事を宅配	新入学児へ祝い品贈呈 15,000円 新一年生へクレヨン贈呈	商工会フラワーロード 30,000円 プランターの花苗・土に	社協だより発行 100,000円 社協の行事や情報を発信
小学校図書書籍購入助成 20,000円 学習活動の支援として	中学校図書書籍購入助成 20,000円 学習活動の支援として	社会福祉大会開催 50,000円 第16回社会福祉大会	仲町シルバー花壇整備 30,000円 道行く人の目を楽しませて

《歳末配分金 504,000 円》

敬老会開催助成 250,000円 各自治会へ助成	おせち料理贈呈事業 120,000円 新年を1人で迎える高齢者に	安全杖贈呈 19,000円 安全に歩行するために
サロンの活動に 65,000円 5ヶ所のサロンへ	紙オムツ購入助成 50,000円 入院でオムツを使用の方に	



《今年も町内各商店・事業所に募金箱の設置をしています》(順不同・敬称略)

もとやストアー・三徳食堂・味のまる藤・お多幸・冬音・研修館楡・金子精肉店・ナカモリ美容室・ヘアウイズ美容室・まなべ理容室・フタバ屋・ローソン和寒町店・喫茶にれの木・花jin・北星信金和寒支店・和寒郵便局・JA北ひびき和寒基幹支所・和寒町役場・保健福祉センター・和寒町公民館・総合体育館・国保町立和寒病院・芳生苑・健楽苑

・・・いつもご協力、ありがとうございます！・・・

《町内各商店・事業所》で募金活動実施！

10月1日に共同募金会の役員が町内協力店、事業所を訪問し募金箱の設置をお願いしました。

協力店のカウンターにピンク色の募金箱を見つけたときはご協力をお願いします



コロナに負けないための応援事業を実施しています！

和寒町社会福祉協議会では、日頃から新型コロナウイルス感染症の感染予防と拡大防止に努められている町内医療・介護・福祉の施設及び従事者を応援し、感染症対応を確実なものにするために次の応援事業を実施しています。

1 マスクバンク事業

新型コロナウイルス感染症の長期化を視野に、町民の善意によるマスクの寄付を募り、施設等の従事者や利用されている方などに届けます。



(1) ご寄付いただくマスク

- ① 未開封又は未使用のもの
- ② 不織布製（使い捨てマスク）又は既製品布マスク（国の配付マスク含）
- ③ 個々に包装されているもの

(2) 寄付をいただいたマスクは、施設等の状況を聞き取りしながら優先順位の高い順から調整して配付します。

(3) マスクの在庫に余裕があるときは、生活困窮者や妊婦、高齢の障がい者などで希望する個人がいる場合は利用もできます。

2 従事者慰労金交付事業

新型コロナウイルス感染症のクラスター（集団）発生を防ぐために、強い使命感で感染予防に努めている町内医療・介護・福祉施設等の従業者に対し慰労金を交付する事業です。

こちらについては、事業期間が終了し全対象者に慰労金が給付されました。



3 クリーンアップボランティア事業

新型コロナウイルス感染症対策のために業務過多となっている施設内清掃や物品消毒作業について、ボランティアを募集登録し、派遣することにより施設等の従事者の負担軽減を図ります。

- (1) 本ボランティアに協力いただく町民を募集し、登録します。
- (2) 各施設等から、希望する清掃や消毒業務を受け付け、登録されたボランティアとのマッチング作業を行い、派遣します。
- (3) この事業は感染を防ぐための業務を対象としていますので、地域における感染拡大の状況や施設内等において感染が明らかになったときは直ちに派遣を中止させていただきます。

※現在は、登録のみとさせていただきます。



■ 受付・申請方法等

・申請・申込・ご不明な点につきましては、和寒町社会福祉協議会事務局（TEL 0165-32-3666）までご連絡ください。

どんな時でもご利用者様のためにケアの質向上を目指します!



～芳生苑・健楽苑の取り組み～

私たちは、新型コロナウイルス感染症の出現により、今までとは全く違う生活へと変わりましたが、介護サービスを提供する当法人施設の芳生苑、健楽苑では、どのような状況にあってもご利用者様へより良いケアを提供するために工夫を凝らして研修を続けています。

コロナ禍では、外部研修の開催は難しいため、今まさに必要と思われる内容を施設内で分散して研修するなど、自らの施設でスキルアップを図っています。

〔芳生苑〕～コロナ禍における『動き出しはご本人から』介護技術実践

平成29年度から講師に日本医療大学大堀具視教授を迎え、取り組みを進めている『動き出しはご本人から』介護技術実践は、今年4年目に入り「ご利用者様自身の力」を信じさらなるケアの質向上を目指しています。

介護技術実践については、これまで町内外の関係施設から沢山ご参加いただいて現場で実践を行ってききましたが、現在は施設職員のみ部署ごとに実践し、時にはオンラインを活用して講師にご指導をいただくなどコロナ禍ならではの勉強会を継続しています。ご利用者様は、これまでの実践の継続により大変表情が明るくなり動きが良くなるなど効果が現れています。



〔健楽苑〕

健楽苑では、日々のケア技術向上に加えて、介護機器の安全な使用について、ケアカンファレンス会議等を活用して全職員で研修を行うようにしています。実際に機器を操作しシュミレーションを重ねるなど安心安全なケアの提供につなげています。



《コロナを正しく恐れる》～いま、私たちにできること

全国的な新型コロナウイルスの感染拡大により、誰がどこで感染するか皆さんが不安な状況です。心ないうわさ話やいわれのない偏見や差別、いじめなどで心を痛み、傷つき悲しんでおられるかたが沢山います。**正しい情報の下、理解を深め、冷静に思いやりのある行動**をしていただくようお願いいたします。



正しく理解し
思いやりある行動を

芳生苑・健楽苑 行事アルバム

コロナ禍で様々な行事が中止になりましたが、職員が知恵とアイデアを出し合い苑内で夏祭り、秋の感謝祭、作品作りなどを行いました。入所者様、デイご利用者様の笑顔にうれしくなっていました！

《芳生苑》



夏祭りウィークー日目。スイカ割りに挑戦！上手に割れましたよ。



今日はヨーヨー釣りに挑戦です。2個も釣れて大満足でした。



ゲームの後は盆踊り体操。介護員さんに併せて、いっち・に・さん・し！



苑の畑で収穫した枝豆もぎ。調理師さんがずんだ餅にしてくれました。



秋の感謝祭。今日は懐かしい紙芝居を見ました。



職員手づくりの野菜を駕籠に入れるゲーム。なんか、楽しくなっちゃった！

《健楽苑》



七夕の願い事は「夫婦の健康」と書きました。いつまでもお元気で！



職員手作りの花束で敬老会を祝いました。



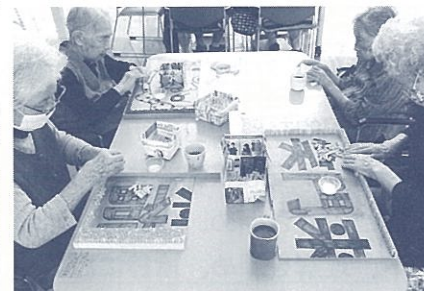
リハビリ運動もやっています。数字の上に間違えないように足を置いてね！



バスに乗り紅葉見学です。さて、今年の色づきは？



自分で焼いたホットケーキは格別です。



協力して作品づくりをしています。完成品、見てみたいなあ…。

《今年の敬老会》 ～各自治会は敬老会開催判断に苦慮～

恒例行事となっている「敬老会」ですが、今年は新型コロナウイルスの影響を受け、ほとんどの自治会で規模縮小や中止としたところが多く、会食の代わりに商品券などの記念品やお弁当を配付して祝う地域がほとんどでした。そんな中、若草自治会は感染対策に努めた上で映画会「塩狩峠」を実施し、参加した高齢者に楽しんでもらいました。（写真は若草自治会の様子と西和福原自治会で記念品を持って訪問している様子）



サロン「おやすみ処」では…

新型コロナウイルスの影響で3ヶ月振りに再開したサロン「おやすみ処」。休止中はサポーターによるサロン内消毒や清掃をして、いつでも利用者を迎え入れる準備をしていましたが6月5日にやっと再開し、毎週金曜日いつもと変わらず賑やかな声が聞こえています。6月は保健師さんから熱中症やコロナ対策の講話を、10月にはインフルエンザの予防講話と健康チェック、更に伊藤節子さんのご協力でお月見お茶会も実施。コロナ対策を心掛けサロンを楽しんでいます！



お知らせ！ 「2021 カレンダーリサイクル市」中止とします！

今年のカレンダーが残りわずかになり、来年のカレンダーのことが気になる頃になってきましたが、来年1月に開催予定だった「2021 カレンダーリサイクル市」はコロナウイルス感染拡大を防止するため、大変残念ですが中止させていただきますのでご了承願います。

ご寄付ありがとうございました

地域福祉のために役立たせていただきます（令和2年6月30日～令和2年11月9日）

川 西 菊地 博明 様（社協・芳生苑）	200,000円	三 和 佐々木 重 子 様	30,000円
和寒町 横田 茂夫 様（芳生苑）	1,000,000円	三 笠 田代キクエ 様（社協・健康苑）	100,000円
札幌市 横 田 慎 一 様	100,000円	日ノ出 田 中 恵 子 様	50,000円
北 町 岩 城 照 子 様	100,000円	北 町 川嶋 幸男 様（社協・芳生苑）	100,000円
南 町 丹 野 美枝子 様	50,000円	札幌市 村井 貞富 様（社協・芳生苑）	100,000円
日ノ出 伊 藤 裕美子 様	100,000円	日ノ出 越智 進 様（社協・芳生苑）	150,000円
西 町 近藤満里子 様（社協・芳生苑）	100,000円	大 成 大浦 博美 様（社協・芳生苑）	150,000円
旭川市 穴 戸 幸 作 様	50,000円	士別市 西崎 貞一 様（芳生苑）	100,000円
三 和 高 橋 栄 二 様	50,000円	石狩市 田嶋 健一 様（芳生苑）	50,000円

カレンダーリサイクル市還元事業 ～「映画会」を開催します！～ ドキュメンタリー映画『ぼけますから、よろしくお願いします。』

社協主催で2年に1回開催している映画会を12月11日（金）に実施します。今回は和寒町地域包括センター認知症啓発事業（オレンジ・デイ）との共催で2018年に公開され大反響を呼んだテレビドキュメンタリー「ぼけますから、よろしくお願いします。」を上映します。

広島に住む高齢の両親と東京から見守りに通う一人娘の物語。語り手は当の娘でこの映画を撮影したテレビディレクターの信友直子監督です。認知症になった母、介護を引き受けたのは90歳を超えた父。その両親の記録を撮ることが自分の使命と思い、娘の視点から両親の姿を撮影し、この映画ができました。娘の信友監督の泣きながらの撮影に思わずもらい泣きをしてしまう感動のドキュメンタリー映画です。

入場料は無料ですが事前に申し込みが必要です。今回はコロナウイルス感染防止のため、上映を2回に分け1回の入場者を50人までとさせていただきます。座席は間隔を空け密にならないようにします。

また、会場で飲食は出来ません。マスクを外さないよう、皆さまのご協力をお願いいたします。男性の方も是非、足をお運び下さい。

◎上映会開催日 12月11日（金） 入場無料

- ・ 1回目 開場13時 上映開始 13:30～終了15:10
- ・ 2回目 開場18時 上映開始 18:30～終了20:10

◎上映会場 公民館「恵み野ホール」

◎鑑賞申込は 12月10日（木）までに和寒社協 32-3666へ



当日は地域包括支援センター企画の『オレンジ・デイ』も同時に開催しています。認知症に関わるパネル展示やチラシの提供、体操紹介なども行います。認知症啓発マスコットの「ロバ隊長」が待ってまーす！

